

各 位



平成21年12月18日

会社名 日本ケミカルリサーチ株式会社
代表者名 取締役会長兼社長 芦田 信
(大証2部 コード番号4552)
問合せ先 管理本部 総務部長 三浦 祐一
(TEL 0797-32-8591)

バイオ医薬品事業に関する包括契約締結のお知らせ

日本ケミカルリサーチ株式会社(以下「JCR」という。)とグラクソ・スミスクライン株式会社(東京都渋谷区:代表マーク・デュノワイエ、以下「GSK」という。)およびグラクソ・グループ・リミテッド(英国ロンドン、以下「GGL」という。)は、JCRが開発を行い事業化を進めているバイオ医薬品の生産・開発・販売に関する包括的な契約を本日締結しましたのでお知らせいたします。

今回の契約対象は、バイオ後続品としてJCRが日本において製造販売承認申請中の腎性貧血治療薬遺伝子組換えエリスロポエチン(以下「EPO製剤」という。)の海外での開発・販売権と開発中のライソゾーム病治療薬(治療用酵素)の国内外における開発・販売権に関するものです。また、JCRが研究開発を進めているその他のバイオ医薬品についても順次、評価検討を行い事業化を進めていく予定です。

JCRは、EPO製剤の国内での開発・販売については、キッセイ薬品工業株式会社と平成17年12月に契約を締結し来春の発売を見込んでおります。今回の契約的締結よりEPO製剤の海外における開発・販売についてはGGLと合意に至り、同社の世界的な販売ルートを通じてJCRのEPO製剤を海外にも供給することになります。また、JCRが開発を進めているライソゾーム病治療薬などその他のバイオ医薬品については、GSKと国内における共同開発およびコ・プロモーションを行い、海外の開発・販売権をGGLに付与します。これにより、JCRはGGLの持つ世界的なネットワークを利用してバイオ医薬品をエマージング諸国を含む世界各国に販売することが可能となり、バイオ医薬品分野におけるJCRの事業基盤がグローバルに確立していくものと期待しております。

なお、今回の契約締結により当社はGSKより契約金、マイルストーン収入およびロイヤリティを受領することになります。また、同時にJCRの自己株式350万株をGGLに譲渡する予定です。詳細につきましては、本日別途開示のリリースをご参照下さい。

以 上

(ご参考)

【 G S Kの概要 】

- (1)商 号 グラクソ・スミスクライン株式会社
- (2)主な事業内容 医療用医薬品・一般用医薬品・トイレットリー製品の研究開発、輸入、製造、販売
- (3)設立年月日 昭和28年8月18日
- (4)本店所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15 GSKビル
- (5)代 表 者 マーク・デュノワイエ
- (6)資 本 の 額 20億6,741万円
- (7)従 業 員 数 約3,200人

【 G G Lの概要 】

- (1)商 号 Glaxo Group Limited
- (2)主な事業内容 1. 資金提供や特許管理によるグラクソ・スミスクライングループへの研究開発支援
2. グラクソ・スミスクライングループ関連会社の持株管理及び持株会社の投資資産管理
- (3)設立年月日 1935年10月14日
- (4)本店所在地 英国 ロンドン
- (5)代 表 者 Julian S Heslop
- (6)資 本 の 額 808,994千ポンド